

石川県における平成18年中の災害及び火災・救急の状況（速報）について

県内における平成18年（1月～12月）の災害及び火災・救急の状況について、各市町及び消防本部(局)からの報告に基づき、以下のとおりとりまとめた。

1. 災害件数及び被害状況について

平成18年中の災害件数は14件で、前年（23件）に比べ9件の減であった。

また、平成18年中の災害による被害としては、死者3人（前年比：1人減）、負傷者12人（前年比：5人減）、住家全壊2棟（前年比：2棟増）、住家半壊1棟（前年比：1棟増）、住家一部損壊14棟（前年比：6棟増）、住家床上浸水13棟（前年比：1棟減）、住家床下浸水159棟（前年比：46棟増）、非住家被害43棟（前年比：23棟増）、農林・土木等の被害総額9億5,066万円（前年比：7億3,984万円増）であった。

→ 《災害件数・被害の状況》

区 分	災 害 件 数 (件)	人 的 被 害		住 家 被 害					非住家 被 害 (棟)	被害総額 (農林・土木等) (千円)
		死 者 (人)	負傷者 (人)	全 壊 (棟)	半 壊 (棟)	一部損壊 (棟)	床上浸水 (棟)	床下浸水 (棟)		
平成18年	14	3	12	2	1	14	13	159	43	9,150,660
平成17年	23	4	17	0	0	8	14	113	20	8,410,819
増 減	▲9	▲1	▲5	2	1	6	▲1	46	23	739,841

なお、主な災害による被害の状況は以下のとおりである。

- ・ 1月から2月にかけての大雪（平成18年豪雪）により、白山市、能登町で死者3人、小松市、輪島市、羽咋市、白山市、穴水町で負傷者12人、白山市で住家全壊1棟、加賀市、津幡町で住家一部損壊13棟の被害が発生した。
- ・ 7月11日から7月12日の梅雨前線豪雨により、人的被害はなかったが、能登町で住家床下浸水5棟の被害が発生した。
- ・ 7月15日から7月19日の梅雨前線豪雨（平成18年7月豪雨）により、人的被害はなかったが、加賀市で住家全壊、住家半壊各1棟、輪島市、加賀市で住家床上浸水13棟、小松市、輪島市、加賀市、能登町で住家床下浸水122棟の被害が発生した。

- ・ 8月12日から8月15日に発生した豪雨により、人的被害はなかったが、津幡町、内灘町、中能登町で住家床下浸水32棟の被害が発生した。

→《過去10年間の災害件数・被害の状況》

区 分	災 害 件 数 (件)	人 的 被 害		住 家 被 害					非住家 被 害 (棟)	被 害 総 額 (農林・土木等) (千円)
		死 者 (人)	負 傷 者 (人)	全 壊 (棟)	半 壊 (棟)	一 部 損 壊 (棟)	床 上 浸 水 (棟)	床 下 浸 水 (棟)		
平成18年	14	3	12	2	1	14	13	159	43	9,150,660
平成17年	23	4	17			8	14	113	20	8,410,819
平成16年	22		42	1		72	26	224	195	10,759,604
平成15年	16					8	3	118	13	1,901,388
平成14年	32		2		1	20	8	204	97	7,424,616
平成13年	24	1	128		1	78		43	73	5,603,602
平成12年	16		2			3		33	8	3,565,207
平成11年	21	1	2			21	18	564	5	6,792,048
平成10年	21	1	8	3	10	23	302	2,154	21	31,747,744
平成9年	13		1			5	1	91	48	7,997,355

2. 火災・救急の状況について

(1) 火災の状況について

平成18年中の火災は、出火件数322件（前年比：36件減）、建物焼損棟数306棟（前年比：5棟減）、り災世帯数213世帯（前年比：3世帯減）、り災人員564人（前年比：40人減）、死者25人（前年比：4人増）、負傷者74人（前年比：22人増）、損害額16億8,077万円（前年比：9億3,181万円増）、建物焼損床面積19,757㎡（前年比：8,723㎡増）、林野焼損面積20a（前年比：106a減）であった。

① 出火件数について

平成18年中の出火件数は322件と、前年より36件減少した。火災種別では、建物火災が231件と最も多く、全体の71.7%をしめている。

（単位：件）

区分	平成 9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
建 物 (うち住宅)	228 (132)	205 (109)	226 (130)	217 (90)	228 (105)	246 (138)	197 (109)	232 (121)	225 (117)	231 (141)
林 野	34	21	24	33	57	34	34	20	19	5
車 両	43	51	69	68	48	56	55	37	55	36
船 舶	2	4	1	1	2	0	2	0	1	1
その他	58	46	59	105	79	82	68	68	58	49
合 計	365	327	379	424	414	418	356	357	358	322

② 死傷者について

平成18年中の火災による死者は25人と、前年より4人増加した。また、負傷者は74名と22名増加した。

（単位：人）

区分	平成 9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
死 者 (うち住宅※)	7 (2)	28 (8)	17 (5)	18 (6)	20 (8)	14 (7)	21 (10)	9 (8)	21 (11)	25 (16)
負傷者	53	52	52	51	45	61	45	44	52	74

※放火自殺者等は含まない。

③ 出火原因について

平成18年中の出火件数322件のうち、「こんろ」によるものが49件で最も多く、次いで「放火（放火の疑い含む）」が46件、「たばこ」が25件、「ストーブ」が20件であった。

〔参考〕

近年の住宅火災による死者数の急増に対処するため、平成16年6月に消防法が一部改正され、全ての住宅に住宅用防災（火災）警報器の設置が義務化された。

このため、新築住宅については、消防法により平成18年6月1日から、既存住宅については、県内市町の火災予防条例により、平成20年5月31日までに、住宅用の火災警報器の設置が必要となっている。

(2)救急の状況について

平成18年中の救急出場件数は34,216件（前年比：541件増）、搬送人員が32,811人（前年比：530人増）であった。

このことは、県内で1日平均93.7件（前年比：1.4件増）、15分22秒（前年比：1.4秒減）に1件の割合で救急隊が出場したこととなり、県民36人（前年同）に1人が救急車で搬送されたことになる。

なお、救急出動件数及び搬送人員を事故種別ごとにみると、第1位がいずれも「急病」であり、以下、一般負傷、交通事故であった。

（単位：件（出場件数）、人（搬送人員））

区分	平成 9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
出場件数	22,345	23,717	25,684	27,331	28,373	28,992	31,172	32,544	33,675	34,216
搬送人員	21,852	23,090	25,051	26,643	27,557	27,991	29,969	31,184	32,281	32,811